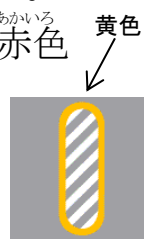


第1段階学科教習勉強用問題6

問題 1 車は、踏切とその手前から30メートル以内の場所で、自動車や原動機付自転車を追い越してはならない。

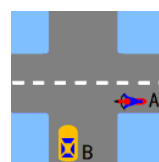
問題 2 児童の乗り降りのために止まっている通学通園バスの側を通る時は、徐行して安全を確かめなければならない。

問題 3 警察官が交差点で手信号により両腕を垂直に上げている時は、警察官の身体に対面する交通に対しては、赤色の灯火の信号と同じである。



問題 4 この標示は、この先に交差点があることを示している。

問題 5 交差点付近を指定通行区分によって通行している時は、緊急自動車が接近してきても、進路を譲ることなく通行区分に従って通行しなければならない。

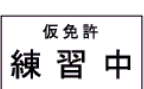


問題 6 このような交差点を通行しようとするBの自動車は、Aの原動機付自転車の進行を妨げてはならない。

問題 7 大型特殊免許を受けていれば、普通乗用自動車を運転することができる。

問題 8 歩行者や自転車の側を通る時は、十分な間隔を空けていても、必ず徐行しなければならない。

問題 9 仮免許練習標識は、自動車の練習をする時に、車の前と後ろの定められた位置につけなければならない。



問題 10 交通規則は、歩行者や運転者などが道路を安全、円滑に通行する上で守るべき共通の約束事として決められているものである。

問題 11 同一方向に三つの車両通行帯のある道路で、普通自動車を運転し、左から数えて三番目の通行帯を走り続けた。

問題 12 車は、この標識がある所で歩行者がいない時は、通行することができる。



問題 13 標識や標示で最高速度が指定されている道路でも、追越しをする時は指定された最高速度を超えてもよい。

問題 14 交差点と交差点付近以外で緊急自動車が近づいてきた時は、道路形態を問わず、必ず左側に寄って進路を譲らなければならない。



問題 15 この図(後方から見たもの)は、左折する時の手による合図である。

問題 16 補助標識は、案内標識のように交通規制を目的としない標識である。

問題 17 自動車を運転する時には、運転免許に記載されている条件(眼鏡等)を守らなければならない。

問題 18 この標識は、自転車専用道路であることを示している。



問題 19 交通が混雑している所では、車は路側帯を通行してもよい。

問題 20 普通仮免許を受けた者が練習のため普通自動車を運転する時は、車の前後の定められた位置に、「初心者マーク」をつけなければならない。

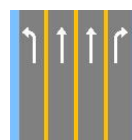
問題 21 踏切を通過する時は、踏切の直前(停止線がある時は、その直前)で一時停止をし、安全を確かめなければならないが、見通しのよいところでは徐行して通過することができる。



問題 22 この標示は、自転車横断帯であることを示している。

問題 23 この標識のあるところでは、原動機付自転車は通行できる。

問題 24 発進する時は、方向指示器などによって発進の合図をし、もう一度バックミラーなどで前後左右の安全を確かめてから発進するのがよい。



問題 25 このように、交差点の手前の車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車が近づいてきた場合や道路工事などでやむを得ない場合の他は、指定された区分に従って通行しなければならない。

問題 26 オートマチック車で上り坂に駐車する時は、チェンジレバーを「L」、または「1」に入れておいたほうがよい。

問題 27 幼児を前部座席に乗せることは、幼児にとって非常に危険であるばかりでなく、運転操作の支障にもなるので、チャイルドシートを用いて後部座席に乗せる。



問題 28 この標識のある交差点で停止線がない時は、標識の直前で一時停止しなければならない。

問題 29 前方の交差点が混雑している場合、その手前に横断歩道や自転車横断帯があれば、その中に入って停止してもよい。

問題 30 路面が雨に濡れ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態がよい場合に比べて、2倍程度長くなることもある。

問題 31 後ろの車が自分の車を追い越そうとしている時は、追い越してはならない。

赤色の灯火の点滅



問題 32 この信号に対面する車は、停止位置で一時停止すれば直進することができるが、右左折することはできない。

問題 33 自動車で交差点を右折しようとする時は、あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行しなければならない。

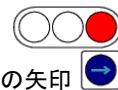
問題 34 横断歩道や自転車横断帯の手前30メートル以内の場所では、他の車(軽車両を除く)を追い越したり、追い抜くことはできない。

問題 35 運転免許は、第一種運転免許、第二種運転免許、仮運転免許の3種類に区分される。

問題 36 この標識は、右側部分にはみ出して追い越すことができないことを示している。



- 問題 37 左側部分の道幅が6メートル未満の見通しのよい道路では、標識や標示によって追い越しが禁止されている場合や対向車がある場合を除いて、道路の中央から右側部分にはみだして追い越しをすることができる。
- 問題 38 交差点で右折または左折合図をする場合は、その行為をしようとする地点から30メートル手前の地点に達した時である。
- 問題 39 この信号に対面する自動車は、交差点の直前で一時停止し、安全を確認した後右折することができる。
- 問題 40 踏切を通過する時は、エンストを防止するため、手早く変速し、高速ギアに入れて一気に通過する。
- 問題 41 オートマチック車のチェンジレバーが「P」または「N」の位置にある時は、クリープ現象によって車が動き出すことがある。
- 問題 42 道路の左側に路線バスの専用通行帯が指定されているところでは、左折する時でも、そのレーンは通行できない。
- 問題 43 この標識の意味は、それぞれ同じである。
- 問題 44 他の車に追い越される時は、追い越しが終わるまで速度を上げてはならない。
- 問題 45 運転する時は、体を斜めにしても、運転しやすければ危険ではない。
- 問題 46 横断歩道に近づいた時は、横断する人や自転車がいないことが明らかな場合の他は、その手前で停止できるような速度で進まなければならない。
- 問題 47 普通自動車は、右左折する場合や工事などでやむを得ない場合を除いて、この標識のある車両通行帯を通行してはならない。
- 問題 48 車は、道路に面した場所に入出入りするため歩道や路側帯を横切る場合に、歩行者がいなければその直前で一時停止する必要はない。
- 問題 49 制動距離とは、運転者が危険を感じてブレーキを踏んだ地点から車が停止する地点までの距離をいう。
- 問題 50 進路変更は、後方の車が急ハンドルや急ブレーキをかけなければならなくなるような時は、変更してはならない。



青色の矢印

ここまで



第1段階学科教習勉強用問題6 解答

↓ ^{りしゅうばんごう}履修番号を^{きょうしゅうこうもく}教習項目に^お置き換えて、^か教本で^{きょうほん}調べて^{べんきょう}勉強してください。

もんだい 問題 1	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 26	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 2	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 27	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 3	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2	もんだい 問題 28	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6
もんだい 問題 4	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 29	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 5	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 30	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 6	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 31	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 7	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 32	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2
もんだい 問題 8	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 33	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 9	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 34	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 10	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1	もんだい 問題 35	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10
もんだい 問題 11	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 36	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 12	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・7	もんだい 問題 37	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4・6
もんだい 問題 13	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5・9	もんだい 問題 38	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 14	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 39	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2
もんだい 問題 15	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 40	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 16	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 41	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 17	○	せつもん とお 設問の通り	もんだい 問題 42	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 18	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 43	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 19	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 44	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 20	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 45	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 21	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 46	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 22	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 47	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 23	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 48	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 24	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 49	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 25	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6・8	もんだい 問題 50	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8

☆見直しのポイント

^{ふせいがい}不正解だった^{もんだい}問題や^{もんだい}わからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを^{がつかきょうほん}学科教本を使って^{つか}理解できるまで^{べんきょう}勉強しましょう。→^{もんだい}問題で^{おぼ}覚えると、^{もんだいぶん}問題文が^か変わるとわからなくなります。